



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 ステラケミファ株式会社
コード番号 4109 URL <https://www.stella-chemifa.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 亜希

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦

TEL 06-4707-1512

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	28,270	4.2	3,068	12.8	3,750	4.7	1,658	47.5
2022年3月期第3四半期	27,124	8.8	3,520	21.3	3,936	42.4	3,159	59.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,368百万円 (27.9%) 2022年3月期第3四半期 3,285百万円 (97.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	134.42	
2022年3月期第3四半期	248.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	54,913	42,920	77.6	3,546.05
2022年3月期	56,598	42,728	74.5	3,369.93

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 42,603百万円 2022年3月期 42,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		24.00		36.00	60.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,600	4.5	3,750	18.2	4,300	24.7	2,000	62.7	163.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,213,248 株	2022年3月期	13,213,248 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,198,891 株	2022年3月期	699,457 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	12,341,012 株	2022年3月期3Q	12,739,620 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の本格的な再開が期待されたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加え、為替相場における円安進行による資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等の影響から、依然として先行き不透明な状況となっています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第3四半期連結累計期間の業績におきましては、半導体部門について、出荷量は前年同期と同水準も、原材料価格の高騰に伴う価格転嫁に努めた結果、売上高は282億70百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

利益面におきましては、主要原材料の無水フッ酸価格が中国市場の需給等の影響や円安進行により前年同期に比べ高騰した結果、営業利益は30億68百万円（同12.8%減）となりました。また、持分法適用関連会社である衢州北斗星化学新材料有限公司の経営成績が堅調に推移したことで持分法による投資利益を計上したものの、営業利益の減少を受け、経常利益は37億50百万円（同4.7%減）となりました。さらに、有価証券の売却による投資有価証券売却益を特別利益に計上した一方で、高純度薬品事業におけるリチウムイオン二次電池用の添加剤について、増産を目的として保有している有形固定資産（建設仮勘定）の減損損失を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億58百万円（同47.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は289億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億35百万円（5.3%）減少しました。主な要因は、現金及び預金が11億41百万円減少したことなどによります。固定資産は259億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円（0.2%）減少しました。主な要因は、有形固定資産が23百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は549億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億84百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は83億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億28百万円（14.6%）減少しました。主な要因は、未払法人税等が12億21百万円減少したことなどによります。固定負債は36億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億47百万円（11.0%）減少しました。主な要因は、長期借入金金が7億33百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は119億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億76百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は429億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が8億32百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は77.6%（前連結会計年度末は74.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日公表の2023年3月期の通期業績予想を修正しています。

詳細は、2023年2月10日付「減損損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,895	14,754
受取手形及び売掛金	8,577	8,504
電子記録債権	65	45
商品及び製品	2,175	2,081
仕掛品	1,510	1,566
原材料及び貯蔵品	1,584	1,572
その他	789	437
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	30,581	28,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,535	6,179
機械装置及び運搬具（純額）	4,772	4,285
土地	5,467	5,467
リース資産	132	164
建設仮勘定	3,147	3,906
その他（純額）	1,611	1,641
有形固定資産合計	21,667	21,644
無形固定資産		
その他	375	293
無形固定資産合計	375	293
投資その他の資産		
その他	3,973	4,030
投資その他の資産合計	3,973	4,030
固定資産合計	26,016	25,968
資産合計	56,598	54,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,743	1,773
電子記録債務	876	943
短期借入金	1,920	1,950
1年内返済予定の長期借入金	1,494	1,095
未払法人税等	1,370	149
賞与引当金	379	190
役員賞与引当金	55	31
設備関係電子記録債務	401	390
その他	1,563	1,852
流動負債合計	9,804	8,375
固定負債		
長期借入金	2,003	1,269
退職給付に係る負債	956	959
役員退職慰労引当金	31	33
株式給付引当金	99	115
資産除去債務	645	684
その他	329	554
固定負債合計	4,065	3,617
負債合計	13,869	11,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	8,793	8,793
利益剰余金	29,450	30,282
自己株式	△1,642	△2,991
株主資本合計	41,430	40,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	29
繰延ヘッジ損益	46	-
為替換算調整勘定	643	1,659
その他の包括利益累計額合計	739	1,689
新株予約権	49	48
非支配株主持分	508	268
純資産合計	42,728	42,920
負債純資産合計	56,598	54,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	27,124	28,270
売上原価	20,407	22,252
売上総利益	6,717	6,017
販売費及び一般管理費	3,196	2,949
営業利益	3,520	3,068
営業外収益		
持分法による投資利益	382	561
補助金収入	37	28
為替差益	19	279
その他	67	78
営業外収益合計	506	947
営業外費用		
支払利息	22	21
株式交付費	37	—
減価償却費	6	—
デリバティブ評価損	—	240
その他	25	4
営業外費用合計	91	266
経常利益	3,936	3,750
特別利益		
固定資産売却益	15	9
関係会社株式売却益	259	—
投資有価証券売却益	—	1,258
特別利益合計	275	1,267
特別損失		
固定資産廃棄損	49	454
固定資産売却損	—	0
減損損失	—	1,926
特別損失合計	49	2,380
税金等調整前四半期純利益	4,162	2,636
法人税等	1,308	1,283
四半期純利益	2,853	1,353
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△306	△305
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,159	1,658

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,853	1,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△20
繰延ヘッジ損益	43	△46
為替換算調整勘定	350	867
持分法適用会社に対する持分相当額	27	213
その他の包括利益合計	431	1,014
四半期包括利益	3,285	2,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,551	2,608
非支配株主に係る四半期包括利益	△266	△239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,399	3,515	84	27,000	124	27,124
セグメント間の内部売上高 又は振替高	250	2,277	—	2,528	165	2,693
計	23,650	5,793	84	29,529	289	29,818
セグメント利益又は損失(△)	3,658	606	△511	3,754	13	3,767

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,754
「その他」の区分の利益	13
セグメント間取引消去	△246
四半期連結損益計算書の営業利益	3,520

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,700	3,453	28,153	116	28,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	2,561	2,561	176	2,738
計	24,700	6,014	30,714	293	31,008
セグメント利益	2,619	441	3,060	16	3,077

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,060
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	3,068

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、ステラファーマ株式会社の株式の一部を売却し、同社を連結子会社から持分法適用関連会社へ変更しています。これに伴い、第1四半期連結会計期間より「メディカル」を報告セグメントから除外しています。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「高純度薬品」セグメントにおけるリチウムイオン二次電池用の添加剤について、今後の事業計画を見直した結果、増産を目的として保有している有形固定資産(建設仮勘定)を減損損失として特別損失に計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,926百万円です。